

萱瀬☆物語

大村市立萱瀬小学校

学校だより 第9号

令和4年7月20日発行 校長 高以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

楽しく充実した夏休みにしよう！

昨日の大雨による臨時休業、被害等大丈夫だったでしょうか。

いよいよ明日から夏休みに入ります。今週は、子供たちから夏休みに関する話題がたくさん聞こえ、それぞれの休みに思いを馳せている様子がかがえました。子供たちが楽しみにしている夏休みは、7月21日から8月25日までの36日間です。1年生は入学式の日から67日間、2年生から6年生は69日間登校しました。



1学期は、校内相撲大会を中止にしましたが、その他は新型コロナウイルス感染防止に努めながらほぼ予定通りに教育活動等を行うことができました。子供たちは、日々の教育活動に一生懸命取り組み、学びを続け、確実に成長してきています。夏休みも交通事故・水の事故等に十分気をつけ、新型コロナの感染予防にも心がけ、楽しく過ごしてほしいと願っています。

楽しく学んだ水泳学習

6月中旬以降、学校プールにおいて「水泳学習」を実施しました。子供たちは、水に潜ったり浮いたりして一生懸命に水慣れから練習し、泳ぐフォームがきれいになったり、以前より長く泳げるようになったり、泳力が上達しました。夏休み期間中、海やプールで泳ぐ機会もあることと思います。水の事故には十分に気をつけてほしいと思います。



【1年生】



【2年生】



【3年生】



【4年生】



【5年生】



【6年生】

お知らせ

3年生担任 小川 ○○教諭と事務職員 糺本 ○○が、9月に出産を控え8月からお休みされます。元気な赤ちゃんを出産されますことを願っております。

代替職員は、決まりましたらお知らせいたします。

お知らせ

8/9(火) 登校日・平和集会（給食なし・10時頃下校）

8/10(水)～18(木) 学校閉庁期間（学校には誰もいません。）

閉庁期間中の学校へのお電話は留守番電話が対応し、録音内容を管理職が定期的に確認します。

8/26(金) 2学期始業式（給食なし）11:20頃下校

8/29(月)～31(水) 午前中のみ授業 給食後 12:40頃下校



お世話になりました(職場体験学習)

前回、大学生のボランティア児童支援活動について紹介しましたが、7月13日～15日の3日間、萱瀬中学校の生徒が（子供たちの先輩）が職場体験で小学校の仕事を体験しました。

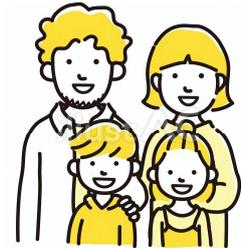


3日間、子どもたちの学習のサポートをしたり昼休み等遊んだりしてくれました。ありがとうございます、お世話になりました。

校長室の窓から

～教育の基盤としての躰～

時代や社会が大きく変わっても、『子育て』の中で変わらないもの、変えてはいけないものがあります。ある教育雑誌に掲載されていた記事を紹介します。



我が国の伝統的な独特の教育方法として躰（しつけ）がある。躰は、裁縫の「躰縫い」と同じ意味である。縫い目が狂わないように、まず仮にざっと縫い付けていくことを言う。その後、本縫いが行われ、仕立て上がると、躰糸は抜かれ、何もなかったように見える。

教育もそうである。一人前に育て上げていくために、まず躰が行われる。「おはよう、ありがとう、ごめんなさい」の「あいさつ、謝辞、おわび」はその第一歩である。躰がすっかり身に付き、ごく自然に振る舞うことができるようになると躰糸は抜かれ、自分の判断で行動を選択し、世渡り（生活）するようになる。

ところが今般、この躰に異変が生じている。一つには、「躰縫いがされていない。」そのため型が崩れてよれよれになっている。二つには、「躰糸をいくつになっても付けたまま」で、一人前になれず、指示待ち人間となったり、保護者がついていないと外も歩けなかったりする。

価値の多元化した世の中で、躰は不要だ。それぞれが育てばよいという考えもある。そうだろうか。価値感が多様化しているだけに、社会行動の共通の基盤が不可欠ではないだろうか。